



Press release

2023年9月4日

アクサ生命、全国の経営者 6,449 人に聞いた『社長さん白書 2023』を発表

～従業員の健康づくり、健康経営、従業員の福利厚生制度の現状と課題とは～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵 聖司、以下「アクサ生命」)は、全国47都道府県の中小企業経営者を対象に実施した意識調査の結果に基づき、『社長さん白書2023』を発表しました。

本調査は、アクサ生命が共済・福祉制度をお引き受けしている商工会議所会員企業を中心に回答にご協力いただき、2004年以来12回目となる今回は、従業員の健康づくり(健康経営®)や福利厚生制度、また、経営者自身が人生において一度はやってみたいことなどをお聞きしました。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

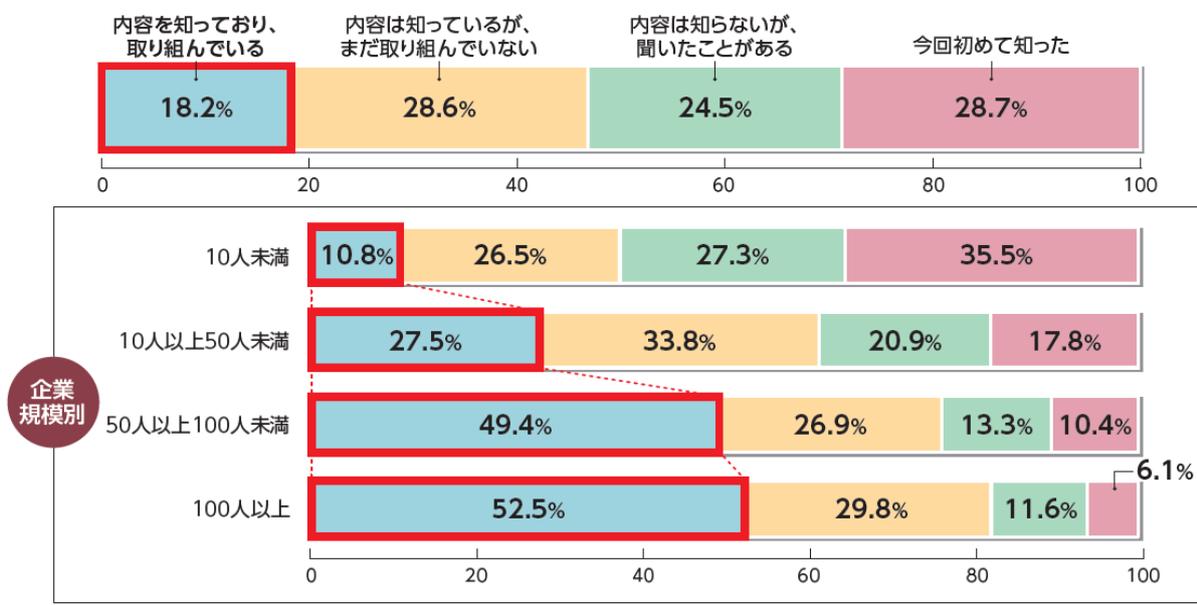
【主な調査結果】

■従業員の健康づくり、会社の健康経営

- 従業員の健康づくりを重要な経営課題と位置づけ、生産性や企業価値の向上につなげる「健康経営」について、内容を知っている(「内容を知っており、取り組んでいる」または「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」を選択)と答えた経営者は、約半数(46.8%)となりました。
一方で、「内容を知っており、取り組んでいる」と回答した経営者が 18.2%であるのに対し、「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」と回答した経営者は 28.6%と約 3 割に上り、健康経営の導入・実践のサポートの必要性が浮き彫りとなりました。
- 従業員のこころの健康をサポートするために取り組みたいことについては、約 6 割の経営者がストレスチェックの実施と回答。一方で、実際にストレスチェックを実施していると回答した企業は約 1 割に留まり、大きなギャップが生じています。
- 新型コロナウイルス感染症の 5 類への引き下げについては、「プラスに働く」と回答した経営者は 46.5%と、「プラスにはならない」と回答した経営者(16.1%)を大きく上回りました。対面でのサービス拡大(79.2%)を中心に、プラスの効果を期待している経営者が多いようです。

調査結果

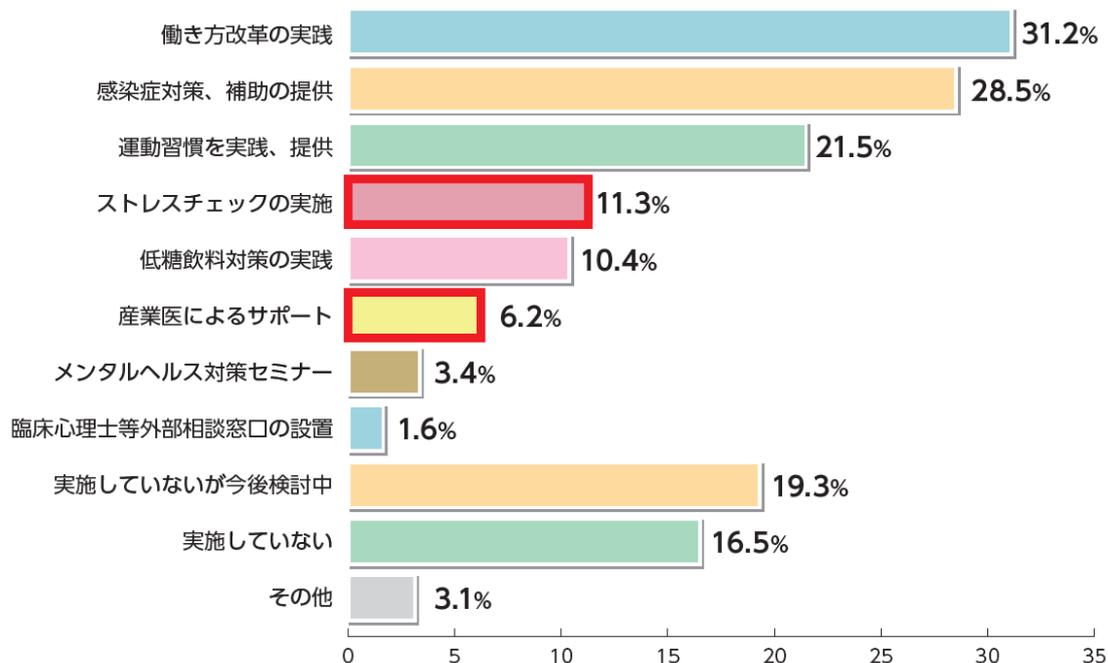
Q. 会社として、生産性や収益性向上を目的として従業員の健康づくりに取り組むことを「健康経営」と言います。「健康経営」をご存じですか？（単一回答）



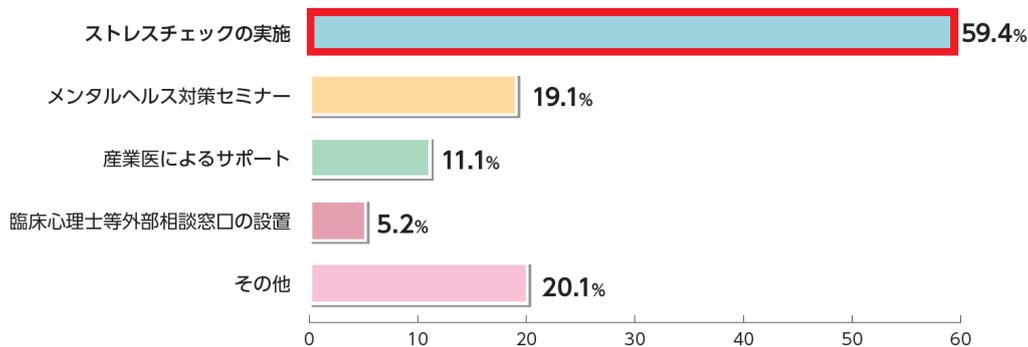
*「健康経営」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

企業規模が大きくなるほど、健康経営への認知度・関心が高くなっていることがわかります。

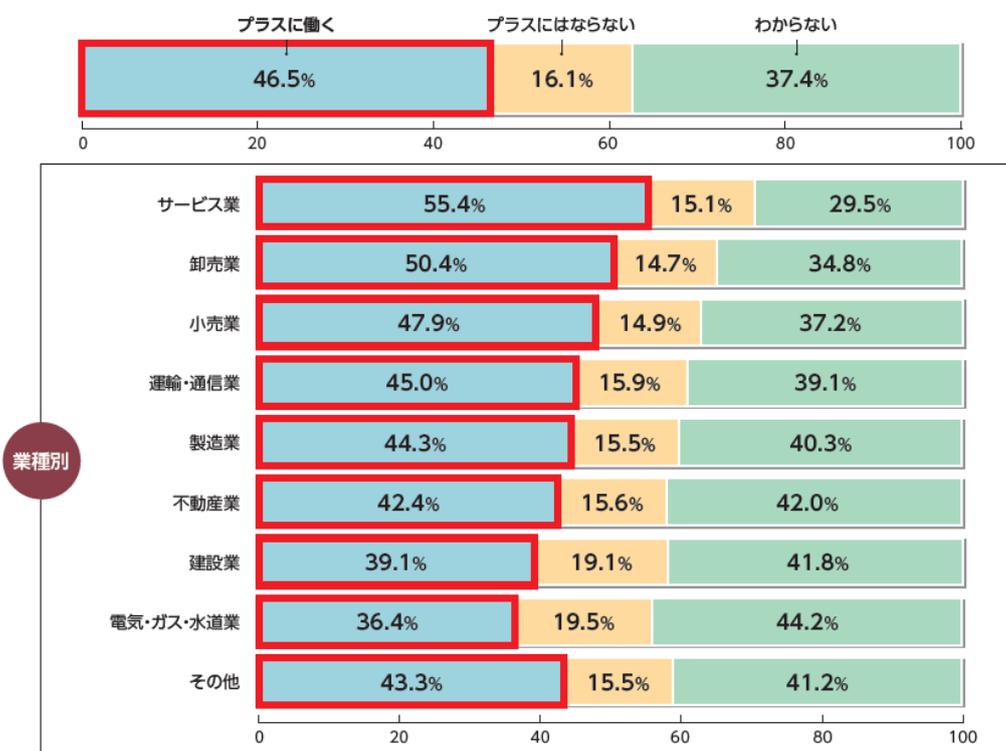
Q. 経営者ご自身や従業員の心と体の健康増進について会社内で実施していることを教えてください。（複数回答）



Q. 従業員の心の健康をサポートするために取り組みたいことを教えてください。(複数回答)

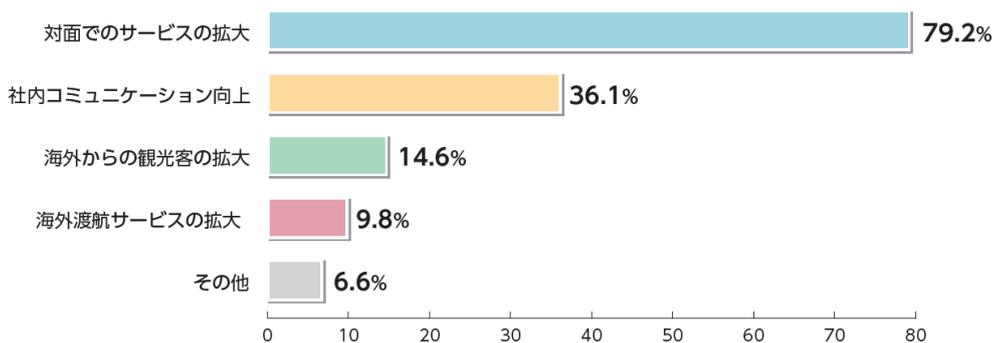


Q. 新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げは御社にとってプラスに働くと思いますか？(単一回答)



新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げは、多くの企業でプラスに働くと思われるようですが、その期待値は業種によって異なるようです。

Q. 新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げがプラスに働くご回答いただいた方へ質問です。どんな分野でプラスになるとお思いますか？

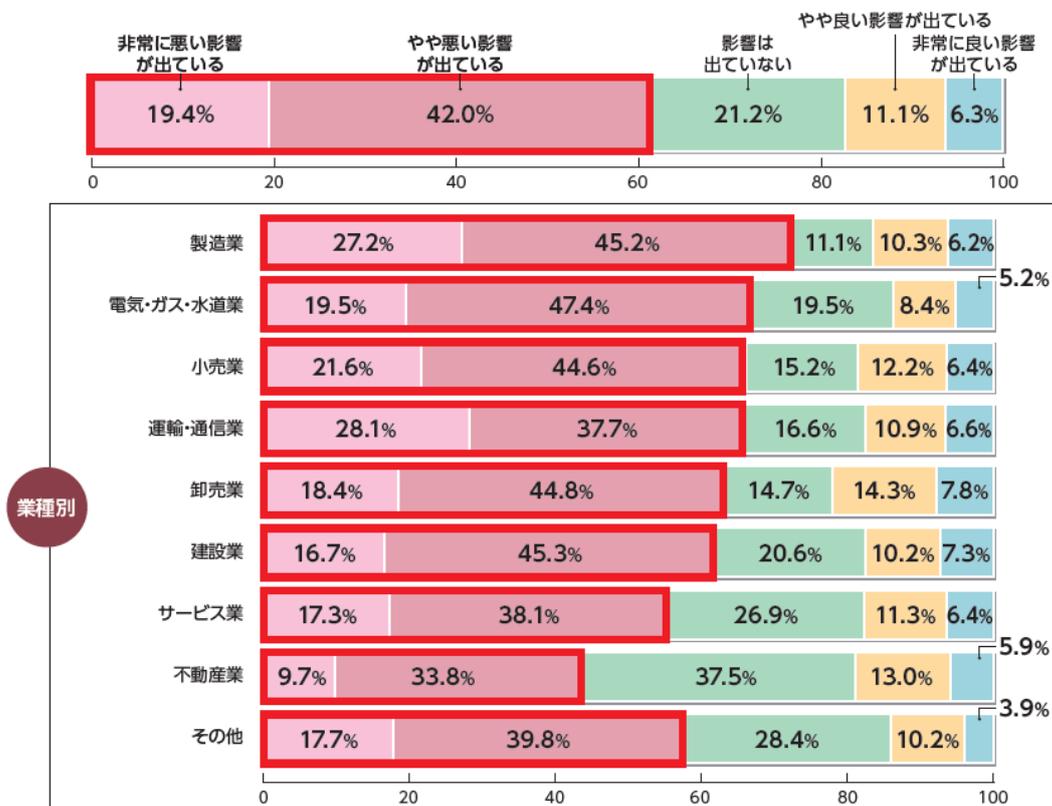


■昨今の物価高が企業に与えた影響、従業員の福利厚生制度について

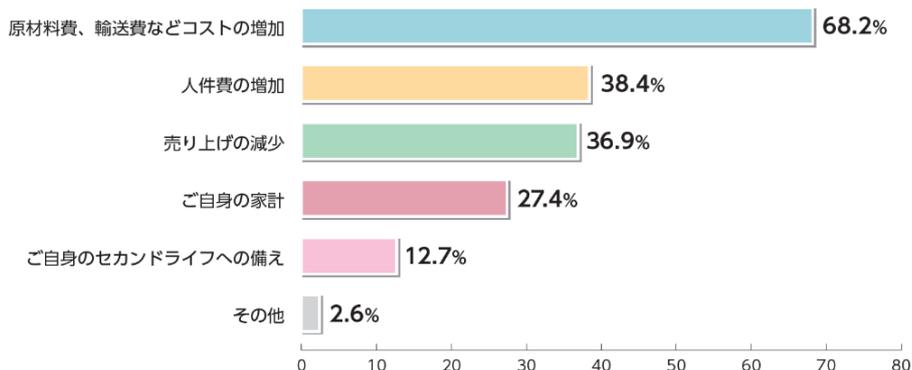
- 昨今の物価上昇を受けて、「非常に悪い影響が出ている」、「やや悪い影響が出ている」と回答した経営者は 61.4%に上り、多くの経営者が物価上昇による悪影響を実感していることがわかりました。原材料費、輸送費などのコスト増加(68.2%)、人件費の増加(38.4%)、売り上げの減少(36.9%)等に不安を感じているようです。
- 従業員の福利厚生制度で取り組んでいることとして、最も多かったのは有給休暇等休暇取得の推奨(57.2%)、次に退職金制度の整備(41.7%)でした。従業員の福利厚生制度で取り組みたいことは、社員旅行等レクリエーションの充実が最も多く(33.9%)、次に、退職金制度の整備(26.2%)でした。
- 従業員退職金の準備状況は、約 4 分の 1 の企業が「準備していない」と回答しました。準備したい方法は、中小企業向け退職金共済制度が最も多く(35.2%)、次に、積立型の生命保険(31.4%)でした。

調査結果

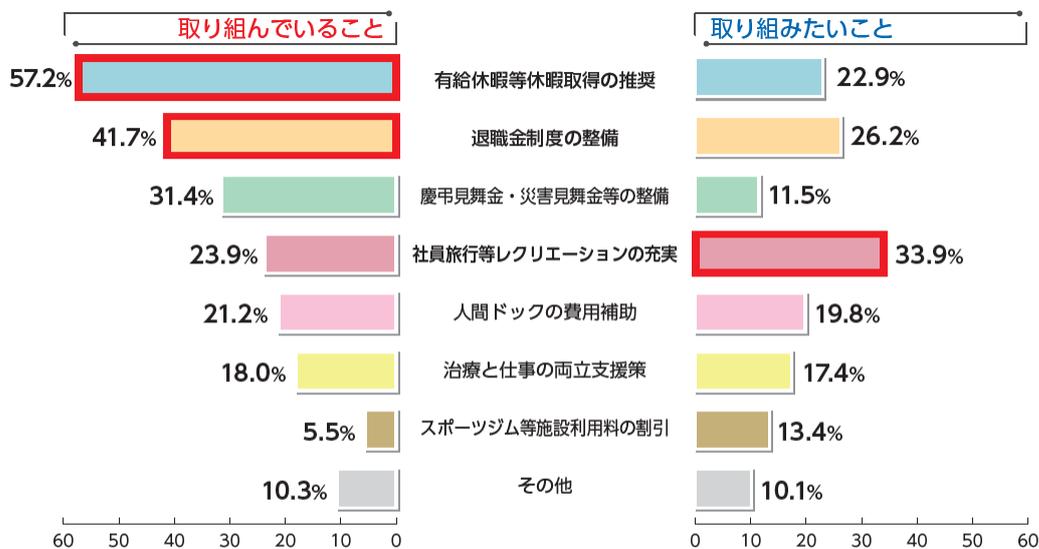
Q. 昨今の物価上昇を受けて会社経営に影響はありましたか？(単一回答)



Q. 昨今の物価上昇を受けてどのようなことを不安に感じますか？(複数回答)

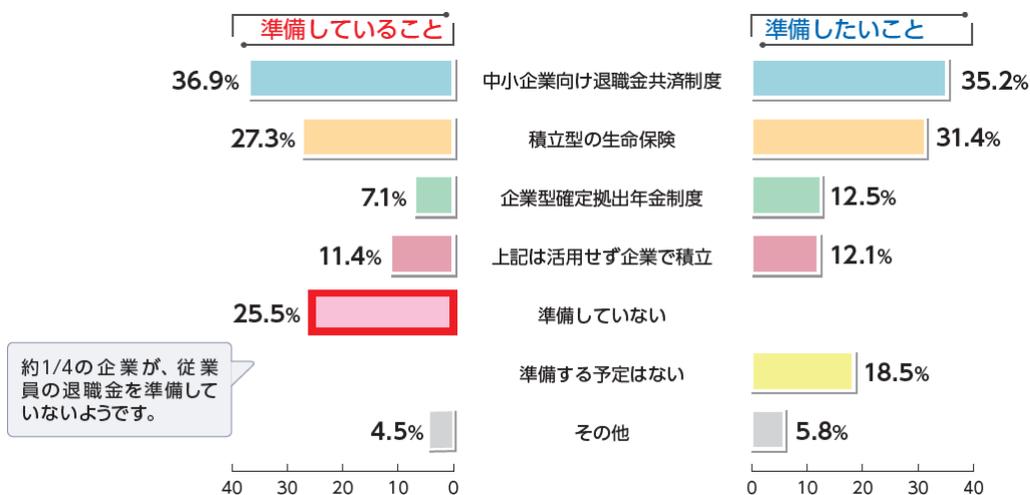


Q. 従業員の福利厚生制度で取り組んでいること、また、取り組みたいことはなんですか。(複数回答)



有給休暇取得の推奨や退職金制度の整備に取り組んでいる企業の割合が高いことがわかります。また、社内コミュニケーションを図るねらいもあってか、社員旅行等レクリエーションへの取り組みにも関心があるようです。

Q. 従業員の退職金はどのように準備していますか？ また、どのように準備したいと考えますか？(複数回答)



約1/4の企業が、従業員の退職金を準備していないようです。

■経営者自身のみらいづくりについて

- 経営者自身が人生で一度はやってみたいこと、家族、従業員にやってあげたいことや地域貢献したいことをお聞きしました。

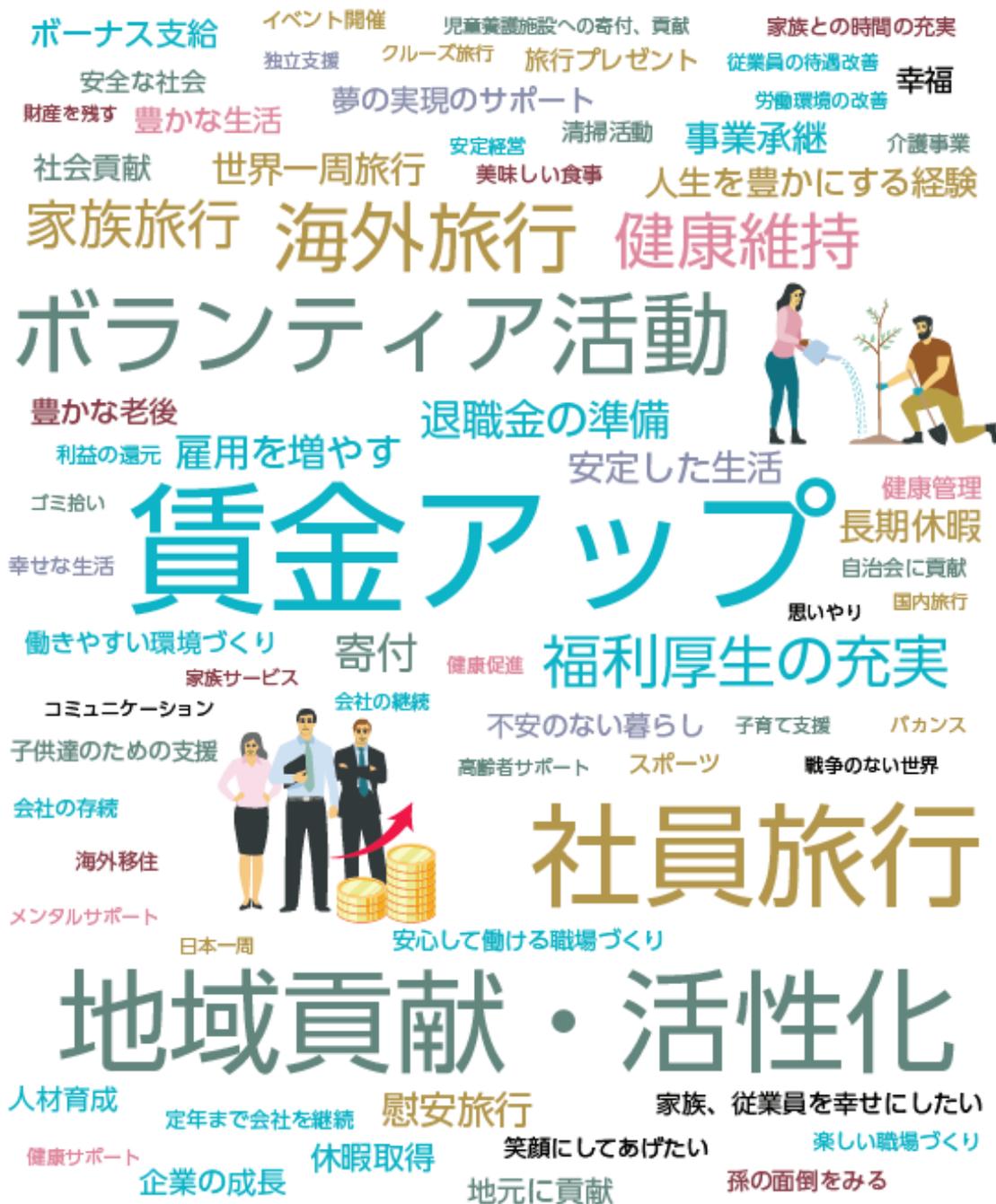
※回答数上位のキーワードを、テキストマイニングによって分析し、頻出単語を抽出して掲載しています。

調査結果

Q. 人生で一度は自分自身がやってみたいことはなんですか？



Q. 人生で家族や従業員にやってあげたいこと、もしくは地域に貢献したいことはなんですか？





【調査概要】

調査期間:2023年4~6月

調査方法:ウェブアンケート

調査対象:全国47都道府県の中小企業経営者

回答者数:6,449名

※ 複数回答の場合は、回答者数を100%として算出しています。

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とはなりません。

アクサ生命は、本調査の結果を踏まえ、今後も経営者の皆さまのニーズにお応えする保険商品やサービスを開発し、よりよいパートナーとして質の高いアドバイスを提供することによって、企業の持続的発展をサポートし、地域社会の活性化につながる取り組みを推進してまいります。

アクサ生命について

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、289 万人のお客さまから 526 万件のご契約をお引き受けしています。1934 年の日本団体生命創業以来築いてきた全国 511 の商工会議所、民間企業、官公庁とのパートナーシップを通じて、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品、企業福利の増進やライフマネジメント®（人生を経営する）*に関するアドバイスをお届けしています。2022 年度には、2,635 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

*ライフマネジメント®はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<https://www.axa.co.jp>

アクサグループについて

アクサは世界 51 の国と地域で 145,000 人の従業員を擁し、9,300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2022 年の売上は 1,023 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 73 億ユーロ、2022 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 9,324 億ユーロにのびます。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2022 年 1 月～12 月の業績です。